

令和 2 年度 第 1 回学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員の意見

(1) 確かな学力の向上

- ・学力調査について、市の平均以下に注目するよりも、平均以上の教科が 3 つもあることを評価して伸ばしていく指導が大切ではないか。
- ・学習が苦手な 3 年生がここでとどまったのは先生方の努力のおかげだと考える。
- ・SNS 利用の時間や市で定めたルールを守ることについてはどの学校も抱えているのではないか。保護者との連携が必至である。

(2) 主体的に行動できる生徒の育成

- ・「学校が楽しい」の回答が 9 割以上というのは本当かとにわかに信じられなかったが、本日の集会の様子を見て納得できた。意見発表では納得・同調・共感があり、仲間同士でやる気が高まる様子が見られた。
- ・意見発表を通して人前で話すときに求めることを明確に指導するとよい。話し方、適切な声の出し方、手のあげ方などを指導していくことで自信を持つなど 2 次的な効果も期待できる。
この人数であるからマイクを使わず「腹から声を出す」という指導もありではないか。
- ・一部下を向いて話を聞いている子もまだ見られる。
- ・不登校の心配はないか？⇒今年度は大きな心配はないが、生徒の毎日の様子を見取り、気になる子については早期に対応している。
- ・中学校では部活や勉強を重荷に感じてみんなと同じようにできなくなる子が出てくるものである。人の成長には個人差があり、それをみんなでどう応援していくかが大事。
- ・将来の夢に関して 7 割が「ある」と肯定的回答をしているのは驚きである。評価基準によって評価は C となってしまったが、次回数値が上がることを期待しての C である。

(3) 保護者・地域との絆

- ・将来地元に戻ってきたいという生徒の肯定的回答が 5 割以上ある。この地域の状況を考えると素晴らしい。+
- ・自身が育ったこの土地で、学校教育に関して小規模だからと言って不便や不足を感じたことはなかった。少人数であることを強みにして生徒を育ててほしい。